

Noism Company Niigata 2024 冬・新作公演

# 円環

金森穰と近藤良平。二人の振付家による新作と Noism レパートリーのトリプルビル。



Noism0

『Suspended Garden－宙吊りの庭』

演出振付：金森穰

Noism1

『にんげんしかく』

演出振付：近藤良平

Noism0 + Noism1

『過ぎゆく時の中で』

演出振付：金森穰

- 新潟公演** 2024年12月13日(金)～15日(日) りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉
- 福岡公演** 2024年12月22日(日) J:COM 北九州芸術劇場〈中劇場〉
- 滋賀公演** 2025年2月1日(土) 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール〈中ホール〉
- 埼玉公演** 2025年2月7日(金)～9日(日) 彩の国さいたま芸術劇場〈大ホール〉

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団・公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団（埼玉公演）

共同製作：りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館・彩の国さいたま芸術劇場

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 × 北九州芸術劇場 × 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 連携プログラム

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） | 独立行政法人日本芸術文化振興会、  
一般財団法人地域創造（新潟公演） [この事業は新潟市からの補助金の交付を受けて実施しています]

## お問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

舞踊企画課：坂内佳子 Noism 制作担当：上杉晴香 広報担当：深作理那 谷内紫乃

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

TEL: 025-224-5627 (10:00-18:00 / 休館日除く) FAX: 025-224-5626 E-mail: info-noism@ryutopia.or.jp

Noism オフィシャルウェブサイト [www.noism.jp](http://www.noism.jp) Noism @NoismPR noism\_official NoismPR



## Noism0 / Noism1 「円環」 金森穰 近藤良平 Triple Bill

2004年に日本初の公共劇場専属舞踊団として、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館で誕生したNoismは、2024年4月に設立20周年を迎えました。

20周年記念公演として6月に上演した「Amomentof」<sup>アモメントフ</sup>では、劇場専属舞踊団として蓄積してきた20年の歩みと、常に新たな舞踊芸術を創造し続けるNoismのismが、揺るぎない身体とともに舞台上で表現され、高い評価を得ました。

2024年冬の公演では、金森穰によるNoism0新作『Suspended Garden』(仮)と、近藤良平によるNoism1新作『にんげんしかく』と、レパートリー作品『過ぎゆく時の中で』<sup>トリプルビル</sup>をTriple Billでお届けいたします。

ダンスカンパニー「コンドルズ」を主宰し、2022年4月からは、彩の国さいたま芸術劇場の芸術監督も務める近藤良平。Noismへの振付は2005年『犬的人生』以来19年ぶりとなり、今回はNoism1の舞踊家たちとの創作です。

金森穰によるNoism0新作には、井関佐和子と山田勇気に加え、かつてNoismメンバーとして長く活躍し、主要なパートを務めた2人、宮河愛一郎と中川賢がゲスト出演いたします。確かな信頼を寄せ合い、多様な経験を積んだ舞踊家たちがさらにハイレベルなクリエイションに臨みます。

レパートリーの『過ぎゆく時の中で』は、東京・池袋で開催されている「SaLaD音楽祭」(2021年)のメインコンサートの演目として、東京都交響楽団との共演で初演しました。Noismの本拠地・新潟では初めての上演となります。

劇場版として、新たなキャスティングでお届けします。

設立21年目のシーズンを迎え、劇場専属舞踊団Noism

Company Niigataはさらなる挑戦と進化を続けてまいります。

今この瞬間に集った舞踊家にこそ創り出すことができる舞台にご期待ください。



『Amomentof』(2024) 撮影：松橋晶子



『セレネ、あるいは黄昏の歌』(2024) 撮影：松橋晶子

## ■公演概要

Noism0 新作『Suspended Garden – 宙吊りの庭』

演出振付：金森穰

音楽：トン・タツ・アン

映像：遠藤龍

衣裳：鷺尾華子

出演：Noism0 = 井関佐和子、山田勇気

ゲスト = 宮河愛一郎、中川賢



『Silentium』(2023) 撮影：篠山紀信

Noism1 新作『にんげんしかく』

演出振付：近藤良平

衣裳：アトリエ 88%

出演：Noism1 = 三好綾音、中尾洸太、庄島さくら、  
庄島すみれ、坪田光、樋浦瞳、糸川祐希、  
太田菜月、兼述育見、松永樹志 (準メンバー)



『犬的人生』(2005) 撮影：東浦一夫

Noism レパートリー 『過ぎゆく時の中で』

初演：2021.8.13

TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2021 [サラダ音楽祭]

演出振付：金森穰

音楽：John Adams 《The Chairman Dances》

出演：Noism0 = 金森穰

Noism1 = 三好綾音、中尾洸太、庄島さくら、  
庄島すみれ、坪田光、樋浦瞳、糸川祐希、  
太田菜月、兼述育見、松永樹志 (準メンバー)



『過ぎゆく時の中で』(2021) 提供：SaLaD 音楽祭 2021

今回、ゲスト振付家招聘企画として近藤良平さんをお招きし、Noism1 に新作を創作していただき、金森穰による Noism0 の新作、そしてレパートリー作品『過ぎゆく時の中で』を上演します。

近藤さんは 2005 年以來、2 度目のゲスト振付となります。今回お招きした理由としては、現在の Noism1 メンバーを思っていたことでした。金森が今までゲスト振付家を招聘するにあたり重要視してきた「集団を持っている振付家」ということを、今回私は選定基準とせず、あくまでも「現在のメンバーの今後の糧になる」という部分を重要視しました。私自身がベジャールの学校で演劇や声楽のクラスの時に感じた恥じらいや、自分の理想（妄想）を壊すことへの恐怖などを、若い頃に打破できたことは、非常に貴重な経験として残っています。現在のメンバーは、Noism という集団の思想、精神性などの理解が深まってきていると思います。しかし、彼らに見える世界だけが全てではなく、様々な世界に接することにより、本当の己を見つける旅ができるのではないかと考えています。良平さんはその人の本質を見極めることのできる方だと思っています。彼らが何と向き合い、彼らに何が欠けているのかということはこの創作を通して見つけていただきたいです。そして、メンバーに新たな、いや潜在的に持っている、しかし自分では知り得なかった感情や感覚が生まれることを願っています。

金森穰の新作は、今回初めてゲスト舞踊家として、元 Noism メンバーである宮河愛一郎と中川賢を招きます。ゲスト舞踊家を招くことを決めたのは、演出振付家ではなく私でした。先に舞踊家を規定することは今までしてきませんでしたが、今回は金森に提案しました。彼ら 2 人は、Noism で最も長く在籍したメンバーであり、戦友でもあります。宮河、中川、山田、そして私は皆 40 代に入り、舞踊家として次の段階に入っていると思います。その境地をお互いに共有し、刺激し合える心の友と、「演出振付家金森穰と向き合う」ということで、何が生まれてくるのか非常に楽しみです。

当初、プログラムのタイトルを「円環」と決めた理由としては、約 20 年ぶりにお招きする良平さんや、元メンバーが「還る」という意味合いを込めていました。しかし、個人として、集団として、時は巡り、時代も移り行く中で、自分たちの身体がどのように変容して、日々生まれ変わっているのか。その身体が、精神と感情にどれほど結びついているのか。円環していく時間の中で、表現者としてそれを自覚し、なお生き抜く舞踊道を皆で探していきたい。

そういう意味を込めて、「円環」というこのプログラムが、閉じて終わるものではなく、次への導きとなればと思っています。

## ■演出ノート

### 『にんげんしかく』

近藤良平

ヒント。Noismの振付は約20年ぶり。

まだ知らぬエナジーがたくさんある。

皆、「生きる」に興味がある。

ひとつの「ハコ」がある。

ハコのウチ側は、闇のように暗い。

ハコのソト側は、キラキラと魅惑的だ。

ハコは、たまに言いたげ。モノを言う。時々泣いたり笑ったりする。

えんぴつで書く。始点と終点をつなげると「形」が生まれる。

それは丸か四角だ。

部屋を見渡す。「冷蔵庫、携帯、下駄箱、トランプ、窓」すべて四角だ。

ボクの気持ちは、シカクだ。

「ニンゲンシッカク」いや「ニンゲンシ・カク」いやいや「ニン；ゲンシカク」

おっとこれはやばい！

安部公房の「箱男」は関係ない。

ハコと共に生きるニンゲン（Noismのみなさん）の日々のようなもの。

そのような「生きる」挑み。



## 近藤良平 Ryohei KONDO

振付家・ダンサー。1996年にダンスカンパニー「コンドルズ」を旗揚げし、構成・振付・演出を手がける。世界約30カ国で公演を開催。NHK総合『サラリーマンNEO』振演出演、NHK連続テレビ小説『てっぺん』、NHK大河ドラマ『いだてん』振付などを担う。野田秀樹による演劇作品や映画、テレビCMなど、多方面で活躍。0歳児からの観客参加型公演「コンドルズの遊育計画」や障害者によるダンスチーム「ハンドルズ」公演など、ダンスを通じた社会貢献にも取り組む。多摩美術大学教授、東京大学、立教大学などでも講師を務める。第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞、第67回芸術選奨文部科学大臣賞、第67回横浜文化賞、第42回ニムラ舞踊賞受賞。2022年より彩の国さいたま芸術劇場芸術監督。ペルー・チリ・アルゼンチン育ち。愛犬家。



撮影：福山楡青

## ■演出ノート

### Noism0 新作『Suspended Garden – 宙吊りの庭』に関して

金森穰

この秋、11年ぶりに宮河愛一郎が、5年ぶりに中川賢が Noism に帰ってくる。  
2人とも長年 Noism1 に在籍し、井関のパートナーを務めた舞踊家である。  
ここに現 Noism0 の山田勇気を加えると、井関の歴代パートナー揃い踏みとなる。

井関、山田、宮河、中川。この4人のためにどのような作品を創作するか。  
私の振付をよく知る舞踊家が集まったからこそ、円熟の舞踊家が集まったからこそ、  
この4人だからこそ生み出せる作品を創作したい、それだけは決まった。

しかし使用楽曲の選定に難儀した。既視感のあるイメージしか浮かばない。  
彼らとなら、もっと未知で、不確かで、もっとヒリヒリするような創作ができる。  
そこで7年ぶりに、トン・タツ・アンにも参加してもらうことを決めた。

アンほどに、井関、山田、宮河、中川という舞踊家を知る作曲家はいないから。  
アンほどに、Noism を、そして金森穰という振付家を知る作曲家はいないから。  
アンは委嘱を快諾し、非常にアンでありながら、新たな楽曲を書き下ろしてくれた。

それぞれに過ごした月日が、経験が、血肉となって今の私たちを作り上げている。  
変わらないもの、新たに発見したもの、磨きがかかったもの、失われたもの・・・  
それら全てを携えて、アンの音響世界、私の演出世界に、4人の舞踊家が集う。

互いをよく知る振付家と舞踊家と音楽家が、ひとつの舞台（宙吊りの庭）を創作する。  
創作のために人を集めるのではなく、人が集まることで創作が始まるということ。  
そんな原初的な創作に挑戦できる（したくなる）のは、この5人とだからである。

今は不安と興奮を噛み締めながら、アンから届いた楽曲を聴き続けている。  
20周年を迎えた Noism の、ひとつの円（縁）を閉じるかに見える本創作が、  
次なる Noism への、新たな円（縁）の始まりとなることを願っている。

本作品は SaLaD 音楽祭で発表することを前提に、コンサートホールの舞台前方、すなわちオーケストラ前の限られたスペースでの実演、舞台左右に1つずつの出入り口しかない、極めて特殊な空間を想定して構想されている。使用楽曲である J.アダムスの「The Chairman Dances」は、東京都交響楽団から送られてきた上演候補の中から最も強いインスピレーションを得た楽曲である。

蒸気機関車が白煙を噴き上げながら目の前を通り過ぎていくような、あるいは新潟競馬場の直線コースを駆け抜けていく競走馬のような、舞台（時）を駆け抜けていく舞踊家たちの姿。そして彼らを見つめる1人の男。男は駆け抜けていく舞踊家たちをその場に留めようと試みます。しかし彼らは、楽しげに、高揚感を伴って、無常なる時を踊り（生き）続けます。いつしか男も、楽しげに、高揚感を伴って、無常なる時を踊り（生き）始めます。そして全ては過去となり、男は慈しむように、過ぎた時間（舞台）に想いを馳せます。

このインスピレーションが私の芸術活動、すなわち Noism の活動から導き出されていることは明白です。初演は2021年。ようやくコロナ禍から解放され始めた頃。当時所属していた外国籍の舞踊家たちが一斉に母国へと帰りました。その現実を受け止める意思が本創作（インスピレーション）の根底にあることは、作者である私としても認めざるを得ない事実です。私にとっての創作とは、抗いようのない現実を受け止める術のひとつなのでしょう。

この度、国際活動部門芸術監督である井関の決断によって再演される本作が、創作時のインスピレーションを裏付けるように、あるいは上書きするように、新しく所属したメンバーたちによって実演されることを嬉しく思います。そして劇場版への改変の構想にも、胸を躍らせています。

優れた舞踊家は一瞬を永遠に変えることができます。それは過ぎゆく無情なる時を、束の間忘れさせる力があるということです。それは過ぎゆく無情なる時を、観客の心に永遠に刻むことができるということです。今回の再演が、現メンバーたちの新たな輝きを見出す機会となることを、そしてその輝きが、観客の心に未長く刻まれることを願っています。時よ止まれ！君（たち）は美しい…

## ■ Profile

### 宮河愛一郎 Aiichiro MIYAGAWA | 出演

埼玉県出身、関東国際高等学校演劇科卒業。19歳でニューヨークに渡米、Alvin Ailey Schoolでモダンダンスを学ぶ。在米期間にGAPのTVコマーシャルなど様々なキャリアを積む。2005年から2013年まで在籍していたNoismでは舞踊家兼バレエマスター、ワークショップ担当として活躍。現在は東京を起点にダンサー、役者、振付家、演出家、指導者など幅の広い活動をしている。自主製作したダンス映像作品『Move on』は10ヶ国19映画祭で上映され4つのグランプリを受賞。また出演した短編映画「飛んで流れて消えて」の演技に対し2020年真国際映画祭最優秀賞助演男優賞を受賞。桐朋学園芸術短期大学演劇専攻非常勤講師。



©fumio takizawa

### 中川賢 Satoshi NAKAGAWA | 出演

6歳から現代舞踊を和田朝子に師事。関東国際高等学校演劇科卒業。日本大学芸術学部演劇学科洋舞コース卒業。2009年より日本初の公立劇場専属舞踊団Noismのメンバーとなり、常に主要なパートを踊る。2018年Noism1×SPAC劇的舞踊『ROMEO & JULIETS』ティボルト役で退団。その後東京に戻り、平山素子、中村しんじ、川野真子、森山開次、鈴木竜などの作品に出演。日本大学芸術学部演劇学科舞踊コース非常勤講師。

近年の主な出演作品

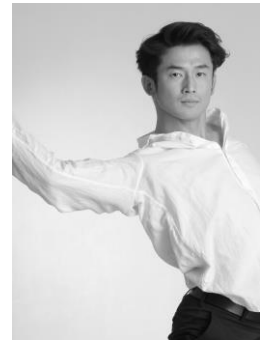
2022年3～5月 ミュージカル『ラ・カージュ・オ・フォール 籠の中の道化たち』ロシン役

2022年6月 新国立劇場『NINJA』（演出振付：森山開次）

2022年11月 新国立劇場バレエ団『春の祭典』（演出振付：平山素子）ゲスト出演

2023年12月 大和シティー・バレエ『宗達-SOUTATSU』主演

2024年 舞台『千と千尋の神隠し』カオナシ役



### トン・タツ・アン An Tôn Thất | 音楽

パリ生まれ、ベトナム人作曲家。2010年より台北を拠点に活動し、舞台芸術、展覧会、インスタレーション、ファッション、作詞作曲など、アジアの様々な分野の芸術家とコラボレーションを行う。『第三婦人と髪飾り』（2018/ Ash Mayfair 監督）、『ソン・ランの響き』（2018/ Leon Lê 監督）、『流れ口ム』（2019/ Trần Thanh Huy 監督）、『輝かしき灰』（2022/ Bùi Thạc Chuyên 監督）等、最新のベトナム映画の音楽を担当。『朝が来る』（2020/河瀬直美監督）、吉本ばななの短編小説を映画化した『ムーンライト・シャドウ』（2022/ Edmund Yeo 監督）、『Hunter Brothers』（2024/ Su Hung En 監督/台湾）、『Rain in 2020』（2021/Lee Yong Chao 監督/ミャンマー）『Sammi, who can detach his Body Parts』（2024/ Rein Maychaelson 監督/インドネシア）等、アジア各地の映画音楽も担当。舞踊にも情熱を注ぎ、金森穰をはじめ、Gang Peng（中国）、Nguyễn Tấn Lộc（ベトナム）、Huang Yi（台湾）らとコラボレーションを行う。2013年にベルリン交響楽団の委嘱による交響曲物語『The Legend of Thánh Gióng』をベルリン・フィルハーモニーホールで初演。2015年サイゴンにて、舞台芸術、映画、写真、インスタレーション、音楽、舞踊、美術を融合し、ベトナム人インディペンデントアーティストの声を届ける没入型アート体験、第1回『[FEEL] in/out』を企画・演出。『NINA-物質化する生け贄』、『PLAY 2 PLAY-干渉する次元』等につき、『円環』は金森穰との5度目のコラボレーションとなる。



©BAO ZOAN



りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する、日本初の公共劇場専属舞踊団。芸術総監督は金森穰。プロフェッショナル選抜メンバーによる Noism0 (ノイズムゼロ)、プロフェッショナルカンパニーNoism1 (ノイズムワン)、研修生カンパニーNoism2 (ノイズムツー) の3つの集団があり、国内・世界各地からオーディションで選ばれた舞踊家が新潟に移住し、年間を通して活動。2004年の設立以来、りゅーとぴあで創った作品を国内外で上演し、新潟から世界に向けてグローバルに活動(国際活動部門)を展開するとともに、市民のためのオープンクラス、学校へのアウトリーチをはじめとした地域に根ざした活動(地域活動部門)を行っている。Noismの由来は「no-ism=無主義」。特定の主義を持たず、歴史上蓄積されてきた様々な身体知を用いて、あらゆるismを再検証することで、今この時代に新たな舞踊芸術を創造することを志している。

21<sup>st</sup> (2024/2025) シーズンメンバー

芸術総監督 / Noism0=金森穰

国際活動部門芸術監督 / Noism0=井関佐和子

地域活動部門芸術監督 / Noism0=山田勇氣

Noism1=三好綾音、中尾洸太、庄島さくら、庄島すみれ、坪田光、樋浦瞳、糸川祐希、太田菜月、兼述育見

準メンバー=佐藤萌子、春木有紗、松永樹志

Noism2 リハーサル監督=浅海侑加

Noism2=高田季歩、江川瑞菜、四位初音、高橋和花、矢部真衣、与儀直希、沖田風子、鈴木彩水、平尾玲

**金森穰 Jo KANAMORI**

演出振付家、舞踊家。Noism Company Niigata 芸術総監督。

17歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。ルードラ在学中から創作を始め、NDT2 在籍中に20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で舞踊家、演出振付家として活躍したのち帰国。2004年4月、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督に就任し、日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。サイトウ・キネン・フェスティバル松本での小澤征爾指揮によるオペラの演出振付を行う等、幅広く活動している。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞、第60回毎日芸術賞ほか受賞歴多数。令和3年紫綬褒章。 [www.jokanamori.com](http://www.jokanamori.com) [X@jokanamori](https://twitter.com/jokanamori)

**井関佐和子 Sawako ISEKI**

舞踊家。Noism Company Niigata 国際活動部門芸術監督。

1978年高知県生まれ。3歳よりクラシックバレエを一の宮咲子に師事。16歳で渡欧。スイス・チューリッヒ国立バレエ学校を経て、ルードラ・ベジャール・ローザンヌにてモーリス・ベジャールらに師事。98年ネザールランド・ダンス・シアターII (オランダ) に入団、イリ・キリアン、オハッド・ナハリン、ポール・ライトフット等の作品を踊る。01年クルベルグ・バレエ (スウェーデン) に移籍、マッツ・エック、ヨハン・インガー等の作品を踊る。04年4月 Noism 結成メンバーとなり、金森穰作品においては常に主要なパートを務め、日本を代表する舞踊家のひとりとして、各方面から高い評価と注目を集めている。08年よりバレエミストレス、10年より Noism 副芸術監督を務める。22年9月より Noism Company Niigata 国際活動部門芸術監督。第38回ニムラ舞踊賞、令和2年度(第71回)芸術選奨文部科学大臣賞受賞。 [X@sawakoiseki](https://twitter.com/sawakoiseki)



金森穰



井関佐和子



山田勇氣



三好綾音



中尾洸太



庄島さくら



庄島すみれ



坪田光



樋浦瞳



糸川祐希



太田菜月



兼述育見



準メンバー  
佐藤萌子



準メンバー  
春木有紗



準メンバー  
松永樹志

撮影：篠山紀信 (金森穰)

撮影：松崎典樹 (井関佐和子・山田勇氣・Noism1)

## 新潟公演

2024年 12月13日(金) 19:00、14日(土) 17:00、15日(日) 15:00 ※全3回

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

■新潟公演では、各回終演後に約30分間のアフタートークを開催いたします。

新潟公演のチケットをお持ちの方であれば、別日程でもトークのみの参加も可能です。ご希望の方はチケットの半券をお持ちください。

12月13日(金) 金森穰×近藤良平

12月14日(土) 井関佐和子×山田勇氣×宮河愛一郎×中川賢

入場料(税込): 全席指定 5,500円 U25 3,000円 高校生以下 1,000円

\*未就学児の入場はご遠慮いただいております。

\*U25は公演時25歳以下の方対象(未就学児を除く)。

U25・高校生以下の方は入場時に身分証をご提示ください。

\*託児サービス、車椅子席等の詳細はりゅーとぴあHPをご覧ください。

取扱い: りゅーとぴあ(オンライン・電話・窓口)

▶オンライン・チケット <https://piagettii.s2.e-get.jp/ryutopia/pt/> [発売初日 11:00-]

▶電話 025-224-5521 (11:00-19:00 / 休館日除く) [発売初日 11:00-]

▶窓口(りゅーとぴあ2階) [発売初日(会員先行・一般発売ともに)取扱いなし]

会員および一般発売初日は、インターネットと電話予約に限定させていただきます。

残席があった場合、翌営業日11:00より窓口にて取り扱います。

発売日: 9月18日(水) りゅーとぴあ会員先行 9月21日(土) 一般発売

問合せ: りゅーとぴあチケット専用ダイヤル 025-224-5521 (11:00-19:00 / 休館日除く)

主催: 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

共同製作: りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館・彩の国さいたま芸術劇場

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 × 北九州芸術劇場 × 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 連携プログラム

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会、

一般財団法人地域創造(新潟公演) [この事業は新潟市からの補助金の交付を受けて実施しています]

公演詳細: <https://noism.jp/noism0-noism1-enkan/>



私たちは Noism Company Niigata の活動を応援しています。



Chacott



jamrucrew Inc.  
ジャムルクル株式会社

stage R



KOSMI  
Ken Orthopaedics & Sports Medicine Institute

Noism サポーターズ  
Unofficial

医療法人 すすき会  
寺尾整形外科クリニック  
寺尾リハビリセンター

HARADA DENTAL CLINIC、atelier rinto、CEC 新潟情報サービス 他1社



Noism Company Niigata / RYUTOPIA Niigata City Performing Arts Center



## 福岡公演

---

2024年12月22日(日) 16:00 J:COM 北九州芸術劇場〈中劇場〉

入場料(税込): 一般 4,000円 ユース 2,000円 (25歳以下、要身分証提示)

ティーンズ 1,500円 (13~19歳、要身分証提示、枚数限定)

\*未就学児の入場はご遠慮いただいております。

\*車椅子でのご来場の方は購入前に劇場へお問い合わせください。

\*託児あり(有料・定員有・要予約 093-562-2655/公演初日の7日前まで受付)

取扱い: 北九州芸術劇場 (オンライン・電話・窓口)

▶オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kimfes/pt/> [発売初日 10:00-]

▶電話 093-562-8435 (12:00~17:00 土日祝を除く)

▶窓口 リバーウォーク北九州 5階 Q-station内 (平日 11:00~18:00 土日祝 10:00~18:00)  
響ホール 事務室 (9:00~17:00)

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード 527-432]

ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード 84674]

発売日: 11月2日(土) 10:00~17:00 KICPAC メンバーズ先行予約

11月9日(土) 10:00~17:00 チケットクラブ Q 先行予約

11月10日(日) 10:00~ 一般発売

問合せ: J:COM 北九州芸術劇場 093-562-2655 (10:00~18:00)

主催: (公財) 北九州市芸術文化振興財団 共催: 北九州市

共同製作: りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館・彩の国さいたま芸術劇場 助成: 一般財団法人地域創造

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館×北九州芸術劇場×滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 連携プログラム

11月23日(土・祝) Noism バレエ体験ワークショップ ※詳細は劇場 HP よりご確認ください。

## 滋賀公演

---

2025年2月1日(土) 16:00 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール〈中ホール〉

入場料(税込): 全席指定 S席 6,050 (5,500) 円 A席 4,950 円

青少年(24歳以下) 3,300 円 シアターメイツ 1,650 円

\* ( ) 内はびわ湖ホール友の会会員料金。

\* 6歳以上入場可

\* 託児サービスの詳細は劇場HPをご覧ください。

取扱い: **びわ湖ホールチケットセンター** (オンライン・電話)

▶インターネット受付 <https://www.biwako-hall.or.jp/>

▶電話 077-523-7136 (10:00-19:00 / 火曜日休館、休日の場合は翌日。12/29、30、1/1~3は休館。

ただし、チケットセンターは12/30は電話受付のみ、12/31は10:00~17:30 営業)

**チケットぴあ** <https://t.pia.jp/> [Pコード 525-290]

**ローソンチケット** <https://l-tike.com/> [Lコード 56714]

**e+ (イープラス)** <https://eplus.jp> [座席選択サービス有]

発売日: 11月1日(金) 10:00~ びわ湖ホール友の会優先発売(ネットチケットおよび電話受付のみ)

11月3日(日・祝) 10:00~ 一般発売

問合せ: びわ湖ホール事業部 077-523-7152

〈休館日〉毎週火曜日(休日の場合は翌日。12/29、30、1/1~3は休館。)  
〈受付時間〉9:00~17:00

主催: 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

共同製作: りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館・彩の国さいたま芸術劇場

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館×北九州芸術劇場×滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 連携プログラム

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会、一般財団法人地域創造

後援: 滋賀県教育委員会

2025年2月2日(日) Noism レポートリー体験ワークショップ ※詳細は劇場HPよりご確認ください。

## 埼玉公演

---

2025年2月7日(金) 19:00、8日(土) 17:00、9日(日) 15:00 ※全3回

彩の国さいたま芸術劇場〈大ホール〉

入場料(税込): 全席指定 6,000円 U25 3,000円 SAFメンバーズ 5,400円

\*未就学児の入場はご遠慮いただいております。

\*サイドバルコニー、2階席の一部は舞台の一部が見えづらいお席です。

\*U25は公演時25歳以下の方対象(未就学児を除く)。

U25の方は入場時に身分証をご提示ください。

\*車椅子でのご来場の方は購入時にSAFチケットセンターにお問い合わせください。

\*託児サービスの詳細は劇場HPをご覧ください。

取扱い: **SAF チケットセンター** (オンライン・電話・窓口) ※埼玉公演のみ

▶SAF オンラインチケット <https://www.saf.or.jp/t/> [発売初日 10:00-]

▶電話 0570-064-939 (10:00-18:00 / 劇場休館日除く)

▶窓口 彩の国さいたま芸術劇場 (10:00-18:00 / 休館日除く)

埼玉会館 (10:00-18:00 / 休館日除く)

▶プレイガイド イープラス <https://eplus.jp>

チケットぴあ <https://t.pia.jp>

**りゅーとぴあ** (オンライン・電話・窓口)

▶オンライン・チケット <https://piagettii.s2.e-get.jp/ryutopia/pt/> [発売初日 11:00-]

▶電話 025-224-5521 (11:00-19:00 / 休館日除く) [発売初日 11:00-]

▶窓口(りゅーとぴあ2階) [発売初日取扱いなし]

一般発売初日は、インターネットと電話予約に限定させていただきます。

残席があった場合、翌営業日 11:00 より窓口にて取り扱います。

発売日: 11月9日(土) SAFメンバーズ先行 11月16日(土) 一般発売

問合せ: SAF チケットセンター0570-064-939 (10:00-18:00 / 劇場休館日除く)

主催: 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団・公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

共同製作: りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館・彩の国さいたま芸術劇場

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

2025年2月4日(火) Noism レポートリー体験ワークショップ ※詳細は劇場HPよりご確認ください。